

国立地域振興タイムス

vol. 39



企業誘致

三穂電機株式会社施設見学と指定企業交流会

平成30年2月20日（火）三穂電機株式会社国立テクニカルセンターにて、第12回指定企業交流会が開催されました。全指定企業10社（14名）が参加し、前半は施設見学、後半は指定企業交流会が実施されました。三穂電機株式会社国立テクニカルセンターの事業施設



▲発電のしくみの説明風景

見学では、同社吉川社長が創業95年となる歴史や、くにたちに移転してきた経緯を紹介され、油原課長からは、電源車の開発・製造やコンサート等のイ

ベントでの電源供給業務、震災など非常時の臨時電源供給など同社事業内容の説明がありました。室澤技術部長からは、「手回し発電式LEDランタン」を使っの、発電のしくみのわかりやすい解説がありました。

多目的ルームでは同社が手掛けたイベント・コンサートの記念グッズや、開閉器（大型の電気スイッチ）、大型トランス（大容量の変圧器）、車両搭載



▲発電機の実物と開閉器（右側）

用発電機の実物などの展示がありました。発電機を車両に積み、移動可能な電源車とすることで、汎用性が非常に高くなり、電源が確保しづらい野外イベント会場や、そもそも電源の無い山間部などにまで、可動範囲が飛躍的に広がったということです。同社は3.11（2011年）の東日本大震災の時に、いち早く被災地に電源車を派遣しました。照明制御業務も手掛けており、コンピュータでフル制御された照明が音楽の演奏に合わせ



▲中型特殊防音電源車の前で

て、前後左右に動作し、点滅・色変更する様のデモンストレーションがありました。

実際に発電稼働中の中型特殊防音電源車を見せていただき、

騒音の抑制方法や操作方法などを説明してもらうことができました。参加者からは、普段見ることのない特殊防音電源車の内部や各種特殊機器などについて、活発な質問が出ました。

後半の指定企業交流会は国立テクニカルセンター3階の研修室で行われました。開会挨拶では、企業誘致推進本部の立川事務局長から、昨年7月の行政組織変更の報告と「指定企業同士が情報交換・交流することにより、あらたな企業誘致や起業につながることを期待する」という指定企業交流会の開催趣旨の再確認がありました。

指定企業間では、最近の業況など含めて、情報交換や意見交換が行われました。各指定企業ともに、業績については順調に推移している中で、人材募集が難しくなっている、欲しい人が集まらないという声が多く聞かれました。また、指定企業間同士での取引事例が紹介されるなど、指定企業間同士の経済交流も進んでいることわかりました。

市からは、「社会を明るくする運動」「通学路の見守り活動」への協力依頼や、今後の町名地番変更のスケジュール等の説明があり、また市長室からは、出席した吉田室長より「女性と男性及び多様な性が平等に参画する社会」を目指すことを目的とした条例が制定されたことの説明、並びに参加指定企業各社への協力依頼がありました。参加各社からは、「今後も企業市民として、市に貢献していきたい」など、まちづくりに積極的な意見が多く聞かれました。